

# 右京地区幼小連携等推進協議会ニュース

平成21年4月  
教育企画課



第4回右京地区幼小連携等推進協議会を平成21年3月23日(月)に右京小学校で開催いたしました。



## (1) 適正化実施計画案等の確認

第3回推進協議会が開催されてから約5ヶ月が経っているため、第3回推進協議会において合意された以下の施設改修案の内容等について確認いたしました。

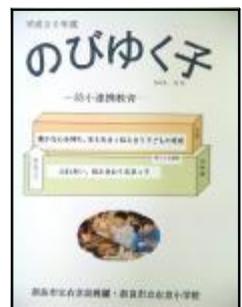
幼稚園施設として保育室・リズム室等を右京小学校北校舎の1・2階に集めて配置するとともに、中庭を幼稚園の園庭として整備します。

特に、日常的に使用する施設を1階に集めます。また、リズム室として改修する北校舎1階の家庭科室を本館3階の「さくらルーム」へ移転する工事については、一部校舎の耐震化計画に併せて検討することになります。

## (2) 幼小連携教育の取組について

右京の幼小連携教育について、一年間の取組をまとめた資料「のびゆく子」を使って、園長より以下の報告がありました。

幼稚園と小学校は、「伝え合う力」(相手の思いや考えを聞く力、自分の思いや考えを伝える力)の育成を目的に、①園児と1年生が関わる接続学年の取組、②園児と1年生以外の学年との取組、③教職員同士の取組等を中心に幼小連携教育を推進しました。



### ① 「園児と1年生が関わる接続学年の取組」について【事例内容】

交流において、1年生が幼稚園を訪問した際、園児は「ようこそ先輩」と1年生を迎え、いっしょにフォークダンスをしたり、いろいろなことを教えてもらったりしました。また、園児が小学校の生活科の授業「シャボン玉で遊ぼう」に参加した際には、ハンガーでもシャボン玉が作れることにとっても驚いていました。

### ② 「園児と1年生以外の学年との取組」について【事例内容】

園児が5年生の総合的な学習の時間「稲刈り」に参加した際、5年生が「稲の乾燥」について園児に話をすると、園児から「乾燥って何」と質問を受け、園児にわかるように自分のもっている知識で精一杯説明している姿を見かけました。

この取組を通して、5年生は自分の知識の振り返りができるとともに、表現力が豊かになりました。また、園児はお兄さん、お姉さんである5年生の話真剣に聞いて、あこがれを感じていました。

### ③「教職員同士の取組」について【事例内容】

幼稚園と小学校の教職員は、合同研修や交流の打ち合せ等を通して、「お互いの教育内容の理解」や「入学予定児童の理解」等を深めました。

### (3) 幼小連携教育の取組の成果について(資料「のびゆく子」より)

#### ■子どもにとって

- ・園児は小学校を身近に感じ、入学に期待感をもつことができた。
- ・園児は小学生にあこがれの気持ちをもつとともに、新しい発見をし刺激を受けることができた。その結果、語彙が増え、表現力が豊かになった。
- ・幼稚園の教育内容と小学校の生活科の中で、目標が重なる部分において幼小合同の授業を実施することにより、園児と小学生の活動内容や学びに広がりや深まりが見られた。
- ・小学生は園児にわかりやすく説明することで、表現力が豊かになり、その過程で相手を意識し、相手を思いやる気持ちが育まれ、園児を気遣う態度も見られた。



資料「のびゆく子」

#### ■教職員にとって

- ・幼稚園と小学校の教育内容や生活面において相互理解が深まり、率直な意見交換ができる関係になった。
- ・幼小共通の課題に向けて、合同の会議や研修を行うことで、協働意識が生まれた。

### (4) 幼小連携教育の取組の発表に対する委員の意見・感想等(抜粋)

- ・幼小連携の基礎ができており、かなり取組が進んでいるため、上級生である小学生が園児に対して、素直な気持ちで優しく接することができたと感じました。



- ・幼小連携の取組は、子どもたちにとって、とても良い刺激になりました。ただし、教員の一年間の取組を見ていると大変多忙であるため、工夫を図りながら、今後もこの取組を続けてもらえることを望みます。
- ・小学生と園児が幼小連携の取組を通して顔見知りとなり、道ですれ違った時にお互いに声を掛け合っている姿を見かけました。このことで、異年齢交流も一層深まると感じました。

【お問い合わせ先】

奈良市教育委員会教育企画課

(TEL) 34-1111

(内線) 4142